



さいくうあと通信

発行 明和町 齋宮跡・文化観光課
(明和町大字馬之上 945 番地)
電話 : 0596-52-7126 FAX : 0596-52-7133
E-mail : saikuuato@town.mie-meiswa.lg.jp

齋宮のハナショウブ群落の保護のため、

クラウドファンディング (寄付募集) を行っています

齋宮のハナショウブ群落 (国指定天然記念物) に咲くノハナショウブを保護するため、クラウドファンディングを実施しています。

かつて指定地周辺にはノハナショウブが咲き誇り、「紫の雲がたなびくよう」とまで言われていました。江戸時代には全国からお伊勢参りに訪れた人々がこの地でノハナショウブを楽しんだそうです。地元では古くから「どんど花」と呼ばれ大切にされており、昭和 11 年 (1936) に国の天然記念物に指定されました。町花にもなっています。

しかし、周囲の環境の変化が進み、現在では 3,000 株ほどにまで減少してしまいました。これ以上の減少を防ぎ、未来へ残すため、給水や除草などの管理に努めていますが、十分な効果を発揮できているとは言えません。

集まった寄付は、群落の老朽化した設備の改修、給水、除草といった維持管理費に充てられます。町内外を問わず、多くの方に齋宮のハナショウブ群落の現状を知ってもらい、関心を持っていただきたいとの思いから、今回クラウドファンディングに挑戦することになりました。町の宝である群落を守り、未来へ残していくために共にがんばりましょう。皆様のご協力をお願いいたします。

期間：8月29日(日)まで

目標金額：3,000,000円

※クラウドファンディングファンについて

ご協力いただける方は、下記のURLかQRコードからふるさとチョイスのサイト (ガバメントクラウドファンディング) にアクセスしてください。(明和町外に住所を有する方は、寄付金に応じて返礼品がもらえます。)

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/1251>



指定当時の群落 (昭和 11 年)



ほ場整備前 (昭和 61 年)

じぐ はらいど
神宮橋と史跡公園祓戸広場が整備されました

明和町は、明和町歴史的風致維持向上計画に基づき、神宮橋および祓戸広場の整備を実施しました。神宮橋は、元々昭和 53 年頃まで祓川に架かっていましたが、台風により消失してしまいました。当時は木製の橋で、主に松阪市側への往来や農作業に使われていたそうです。地元では伊勢街道に架かる「祓川橋」の下流にあることから「下の橋」とも呼ばれていたそうです。

今回の整備により近鉄漕代駅から神宮橋を渡り斎宮跡へ周遊することが可能になりました。ぜひ神宮橋を通過して田園風景や祓川周辺を散策してみてください。

<整備された神宮橋と祓戸広場>



架け換えられた頃の神宮橋 (昭和 35 年)
 高木勝巳氏ご提供



崩落寸前の神宮橋 (昭和 52 年頃)
 高木勝巳氏ご提供



神宮橋と祓戸広場周辺 (北から)



～ドローンを活用した文化財の撮影を行っていきます！～

明和町では、防災や農業など行政のさまざまな場面でドローンを活用していくために職員がドローン隊「AIRIS(エアリス)」を結成しました。斎宮跡・文化観光課では斎宮跡をはじめとした発掘現場や各施設等で空撮を行い、文化財保護や観光 PR に活用していきます。



<ドローンで撮影した映像>



さいくう平安の杜



史跡斎宮跡 (斎宮駅北側)